

県政に新しいウネリを。

柏木  
たけし

# 磐田をやるため県にいく

～ 政策をつくるのは市民だ～

www2.wbs.ne.jp/~zemizemi 柏木たけし後援会報 vol 2

## 国・県・市のあり方を考える。

柏木は考えます	国	県	市
<b>疑問</b>	なぜ、良いと思うことが政治に反映されないのか？ なぜ、若い政治家が当選しても国が変わらないのか？	県会議員は何をしているの？ 市と県って何が違うの？県の仕事って何だろう？	行財政改革の為の合併と言われているが、そんなに財政は厳しいの？ 市議から県議への転進理由は？
<b>答</b> 	政治家は献金・選挙資金の提供や票の提供を受け、選挙しか見ない。 私は、無所属でどこの政党からも推薦を受けない形で当選したい。もしどこかの政党に属しても正しいと思うことができれば離党してでも戦えます。 新しい政治家のネットワークを形成し、地方から国に意見ができるような政治が重要と考えます。改革には地方の勢力が必要です。	県会議員は市と国のパイプ役といわれています。県の権限は都市計画（道路等をどこに通すか）や警察権、小中学校の教師の任免権等、生活に密着したものも多いです。 私は県レベルの合併、道州制（日本を地域分割）への移行も考えています。 市が独自に市民のための政策を打てるようにしたい。県と市の分業について考え直す時期がやってきています。	私は政治家の公約を作るのは住民だと考えます。例えば「橋を掛ける」ならお金がいくら掛かり、どの経費を削減すべきかを説明し、住民の納得の上で実行していきたいと考えます。 市の財政は少子高齢化とバブル崩壊後の景気低迷の影響を受け厳しい状況です。合併により経費削減と効率化を図る必要があります。磐田は大きく変わります！
<b>議員として何をやる。</b>	しがらみのない地方議員集団をつくる。 明治維新は地方出身の30代40代の下級武士が成し遂げた。平成の維新が必要です。このままでは駄目だという住民の認識を政治に反映することです。	市議の延長の県議でなく、国会議員や地方議員とフラットな関係をつくり斬新的な活動をします。これが県政の新しいウネリです。 市・県・国の政党でなく信頼で集結を演出できる立場です。	市が独自に施策ができるようにする。改革をしようとしても国や県の障害もあります。市が仕事をしやすいようにしたい。 そして住民に徹底的な情報公開をする。政治は住民のためにある事を政治家が再認識することです。

\* 私は考えます！ 政策を作るのは市民の皆様です。例えば「道路をつくる」それにより「これだけの金が掛かる」「ここは節約する。この料金は上げさせていただく」または「これだけ後世の借金が増える」・・・このような議論を市民とし、実現化していくのが政治家だと考えます。

## < 柏木たけしの市議時代の提言・活動 >

行財政改革・・・入札価格の適正化のため電子入札の導入。情報技術を活かした経費削減。市職の身分保証を考えた上での業務の民間委託。

少子化対策住宅の提案・・・子育て世代に市有地を活用し、月2～3万程度で住宅を提供したらどうか？

中心市街地の活性化・・・民活によりLRT（路面電車）を活用した少子高齢化・環境問題に順応した街作り。駅前を磐田の顔として人が歩くショッピングゾーンの形成。

学校教育・・・小中学校の改革のために権限・財源を校長に移す、そして校長は経営者的な感覚をもって学校経営をするべきである。

若者の労働問題の解決・・・職の斡旋や資格取得の補助、職場創造のための民間企業の誘致、活性化のための施設（らーめん街やグルメ施設、環境に優しい農産物の販売所等）を作り、消費の拡大に伴う雇用の確保。

福祉施策の充実・・・公立保育園での0才児保育の開始。高齢者生きがい作りのための、経験を生かした職の斡旋。

磐田のイベント・・・ジュピロ磐田の優勝時には全市を挙げたカーニバルを次夏の花火大会時に開催。

市外に目を向けた活動・・・全国若手市議の会、静岡選挙学講座、遠州地区若手議員政策研究会を通じた県内外の人脈作り。フィリピン・ダグバン（姉妹都市）への私費訪問。

情報公開・・・ホームページ、後援会報を通じた情報提供。会派での市政報告会の開催。磐田市議会のHP完成。市議会のインターネット、CATV放映。

地域活動・・・第一衛生プラントの顧問、南部中同窓副会長、地域祭典等、皆様の声を聞き、市政へ反映。



ポーランドの晩餐会にて左からミスワルシャワ・ラジヴィル、ポーランド公使、佐藤典子先生、柏木

遠州地区若手議員政策研究会、大学教授を招き、勉強会。この時は市町村合併について



## < 柏木たけし県政への抱負 >

政治に住民の意見を反映させるための市議と協力した住民会議（地域・高齢者・母親・壮年・青年・若者）の開催をし、必要な政策を考え、国・県・市にあげる。

ホームページ、会報等を通じた徹底的な情報公開。

政令市、中核市を見据えた周囲の市との関係の構築。

行政コスト削減のため、民間とのタイアップ。

都市計画等、磐南新市のまちづくりを進める。

高齢化への対応として新市の交通システムの実現。

環境問題や食の危機は、最重要課題です。

教育の権限・財源、組織を現実に即したものにします。



静岡選挙学講座にて。当日は柏木が自分の選挙の経験を塾生に話す。講義時間は約1時間。選挙学講座を通じた県内の新しいネットワークが形成されつつある。新しい政治のウネリがはじまった。

今後の情報伝達をスピーディー且つ低コストで行うため下記のアドレスにメールをください！  
t-kashiwagi@mail.wbs.ne.jp

磐田市上大之郷 635-1 36 1010  
内部資料